



中島 真弓



動画配信中

医療従事者の方々に

感謝とエールを届けよ！



国や県の支援策の対象外となつてい  
る医療従事者に対し、感謝と応援の気  
持ちを込めた本市独自の支援策が必要と考  
えるがどうか。

市長

国や県の支援策は感染患者と接す  
る医療従事者に対するものが主であるが、  
直接感染患者と接するわけではなくとも、  
地域医療の現場で働く医療従事者が同じ緊  
張感を強いられていることに変わりはない。  
そのような地域の医療従事者に対し、本市  
が何か支援できないか検討していきたい。



◆教育の保障

教育のICT化やGIGAスクール  
構想が進む中、ハード面の整備やICT  
活用スキルの差により教育格差が生じる  
心配があるが、本市の取り組みを聞きたい。

教育長

教育のICT化はこれまでの学び  
方に変容をもたらし、教師には授業づくり  
とICT活用スキルが求められることとな  
る。本市ではこれまで研修や教育研究所の  
研究等を通し、ICTを活用した効果的な  
指導に実践的に取り組んでおり、今後も教  
育格差を生まないよう、教師の指導力向上  
とよりよい授業づくりを努めていきたい。



鳥井 康子



動画配信中

新型コロナウイルス感染症の検査拡充を！



同感染症の第2波に備え、医療・介  
護従事者等のエッセンシャルワーカー  
を対象に抗体検査を行えないか。持病のあ  
る方だけでも行うことで、同感染症の蔓延  
を防ぐことにつながるかと考えるがどうか。

健康福祉部長

市民生活を支えるエッセン  
シャルワーカーの方々が不安なく仕事を継  
続できることは、重要なことと考えている。  
抗体検査は現在のところ健康保険の適用外  
となっているが、今後も国の動向を注視し、  
医師会や県と協議を進めていく。



◆医療扶助

生活保護制度のセーフティーネット  
としての役割を周知し、受給すること  
を恥とするような偏見を取り除くことは重  
要であると考えがどうか。

市長

新型コロナウイルス感染症が直接  
の要因となった生活保護制度の動きは現状  
ないが、同感染症が長期化するにつれて影  
響が出てくることも考えられる。憲法に明  
記された最低限度の生活を保障することは  
行政の役割であるため、同感染症の流行下  
であっても適切な援助が行えるよう対応し  
ていきたい。



大谷 弥生



動画配信中

学校教育におけるICT環境を  
早急に整備せよ！



GIGAスクール構想で導入するタ  
ブレットは、教職員の異動が多く行わ  
れる安足教育事務所管内で同じ機種にし  
てほしいと考えるがどうか。

教育長

安足教育事務所管内で同じ機種を  
導入することにより、異動した際も戸惑う  
ことなく効率的に業務を行うことができ  
ると考える。現在、これまでのタブレットの  
活用状況や実績を踏まえて佐野市と協議を  
行っており、引き続き綿密な情報交換を重  
ね、ふさわしい機種を選定したい。



◆学校教育

各家庭を対象としたインターネット  
環境の調査では、どのような結果が出  
たのか。

教育長

同調査では、スマートフォンやパ  
ソコン等のICT機器を所有しているか、  
インターネットに接続できる環境が整って  
いるかを調査した。その結果、スマートフォ  
ンがある家庭、パソコン、タブレットがあ  
る家庭はいずれも約7割、インターネット  
に接続できる環境にある家庭は約9割で、  
予想以上であった。この結果を踏まえ、今  
後もICT環境の整備に取り組んでいく。